

2023 たちばな教育サロン

救急救命実習に
シミュレーション活動の
映像を事前配布してみた！！

第1回たちばな教育サロン

2023.05.31

〔健康科学部救急救命学科
関根 和弘〕

救急救命実習 I ~ IV

○1コマ(100分)×3講時連続

- ・救急隊活動、シミュレーション教育

○実技主体の実習(演習)

- ・50名の学生を6班(7-8名/班)編成

シミュレーション教育

- 医療者教育は知識重視から能力重視の教育へ
- シミュレーション教育（simulation-based education, SBE）は、学習者の知識と技術の統合により実践力を強化する教育としてその効果が世界的に実証されている
- SBEは学習者中心の教育であることから、指導者には学習者の自主性を引き出す指導技術を求められている

今までの
救急救命実習の(事前)講義

靜脈路確保

救急救命實習Ⅱ - 16

静脈路確保とは

- 静脈内にカテーテルを挿入、留置して
- 体外から血管内へ通じる経路を作成し
- いつでも直ちに輸液や薬剤投与ができる状態で経路を維持する

静脈路確保の目的

- 輸液や薬剤を血管内へ投与する
- 特殊な薬剤を時間をかけて連続投与する
- 点滴注入（点滴）：薬液を一定の速度で滴下して投与すること

静脈路確保の穿刺部位

- 上肢

前腕部 肘正中皮静脈

橈側皮静脈

尺側皮静脈

手背部 手背静脈

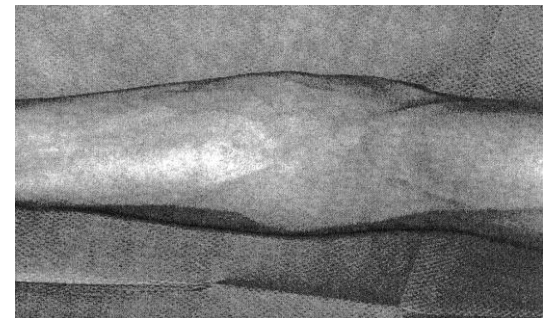
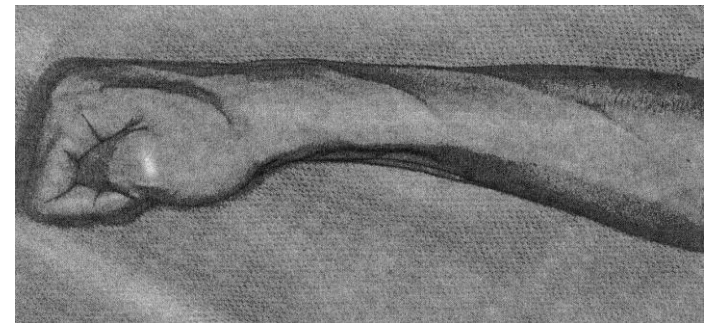
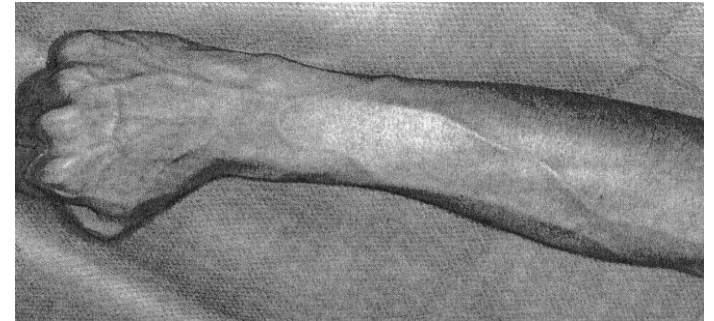
麻痺側は筋肉運動が無く

痛みが判らず合併症に気

づきにくいので避ける

(現行の処置範囲では必要は

ないが将来必要となる知識)



エ 静脈留置針のベベル（カット面）を上方に向け、内針基部をバックフロー（フラッシュバック・逆流）が確認できるように母指と示指で保持する。



- こんな持ち方は**ダメ！！**

静脈留置針の持ち方

ダメな
持ち方 1

- × 接続部接触
- × 逆血が確認できない

ダメな
持ち方 2

- × 接続部接触
- × 角度が浅すぎる

ダメな
持ち方 3

- × 接続部接触
- × 逆血が確認できない

- 静脈留置針は持ち直さなくても良い持ち方で保持すること。
- 角度を寝かしたときに邪魔にならないように保持すること。

- ・前週に事前に講義スライドを紙焼きして学生に配布

- ・テキストに記載のない詳細な事項とポイントを明記

- ・救急救命実習当日に特定行為の手法を教員がデモンストレーション

○課題

- ・スライドやテキスト読んでこない
- ・デモンストレーション(以下、デモ)が見えない。特に細かい箇所(重要!!)が見えない
- ・実習に入って、再度教員が手技のデモを実施しなければならない

特別講演

「教員のためのインストラクショナルデザイン入門」

向後千春教授

早稲田大学

人間科学学術院

2015年4月25日

於：京都橘大学



聴講し反転授業的な手法をいれてみた

- ・インストラクショナルデザインの手法を入れてみた

- ・反転授業を取り入れてみた

救急隊員教育用OSCE マトリックス

現場応用

思考

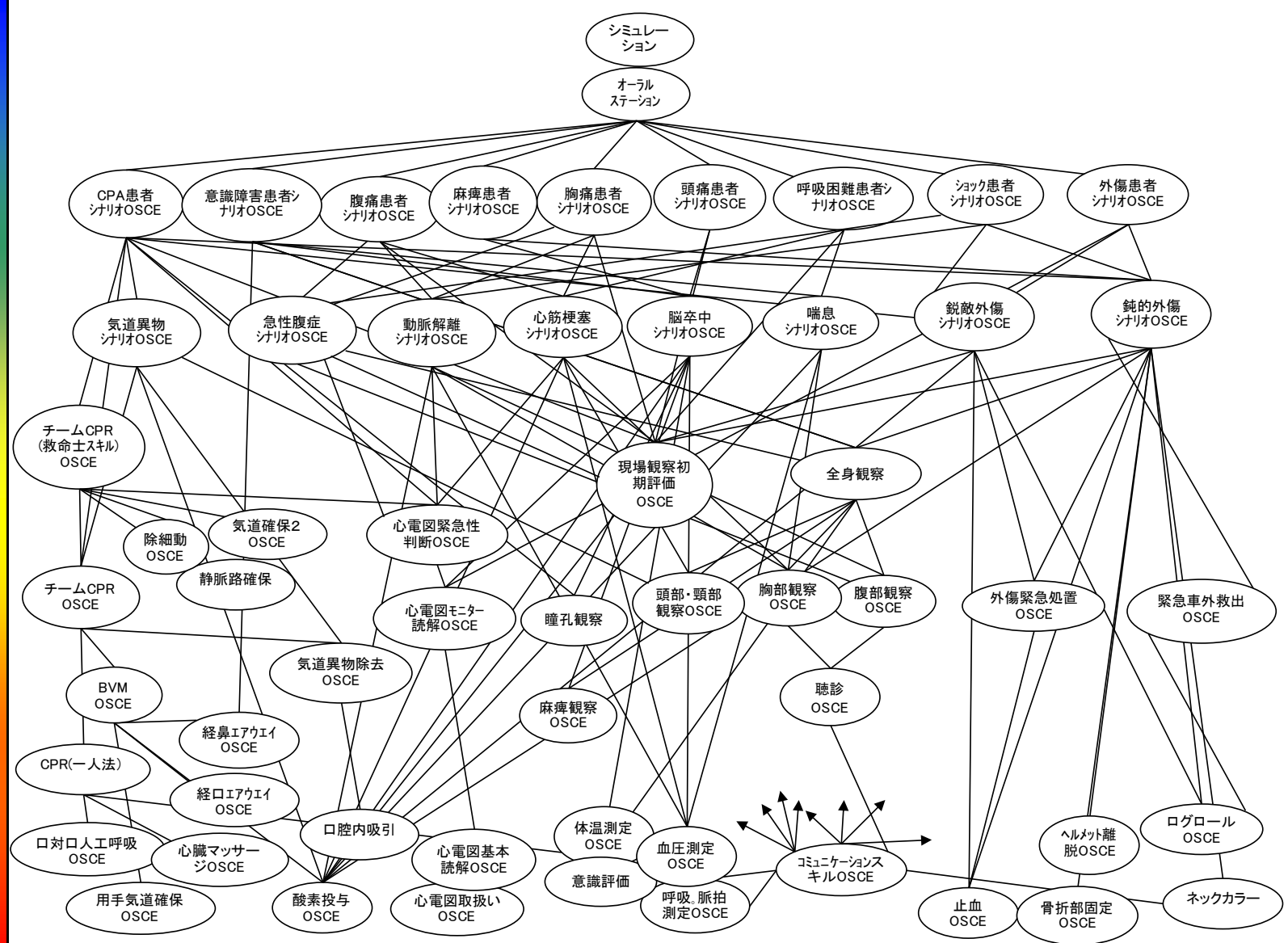
ステップ4

ステップ3

ステップ2

ステップ1

学習開始



技術

救急隊員教育用OSCE マトリックス

現場応用

思考

ステップ4

4回生

シミュレーション

ステップ3

3回生

ステップ2

2回生

ステップ1

1回生

技術

学習開始

徒手気道確保 OSCE

酸素投与 OSCE

心電図取扱い OSCE

呼吸・脈拍測定 OSCE

止血 OSCE

骨折部固定 OSCE

ネックカラー

（救急士レベル）OSCE

現場観察初期評価 OSCE

全身観察

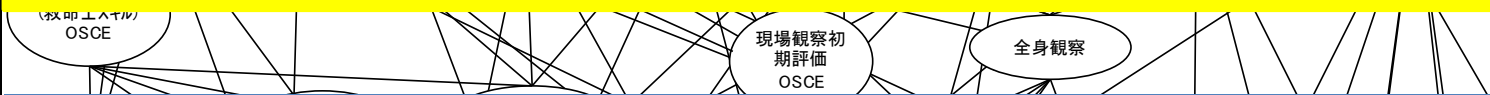
BVM OSCE

経鼻エアウェイ

（救急士レベル）OSCE

麻痺観察 OSCE

聴診 OSCE



5-step skill teaching

思考 << 技術

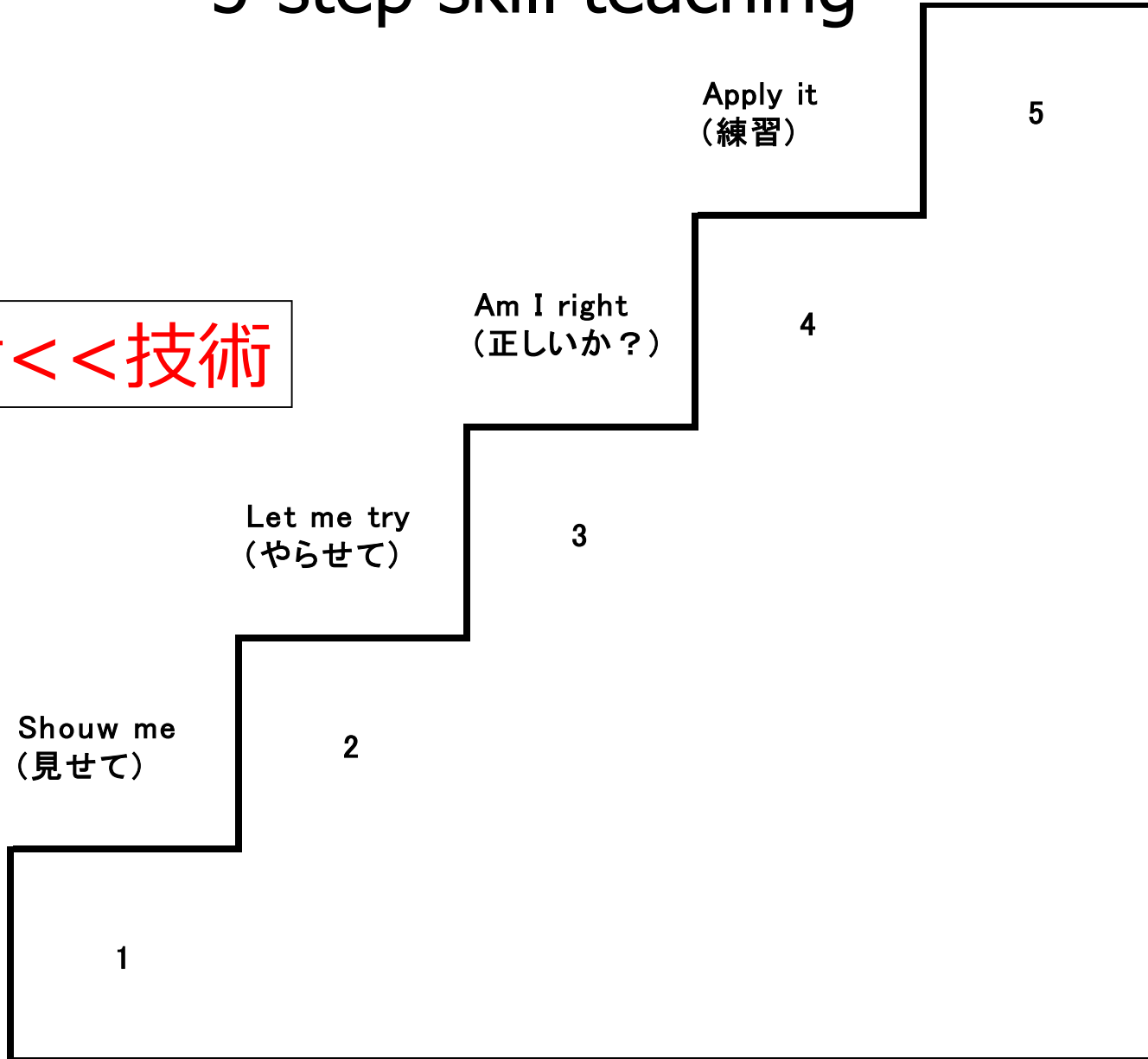
Tell me
(教えて)

Show me
(見せて)

Let me try
(やらせて)

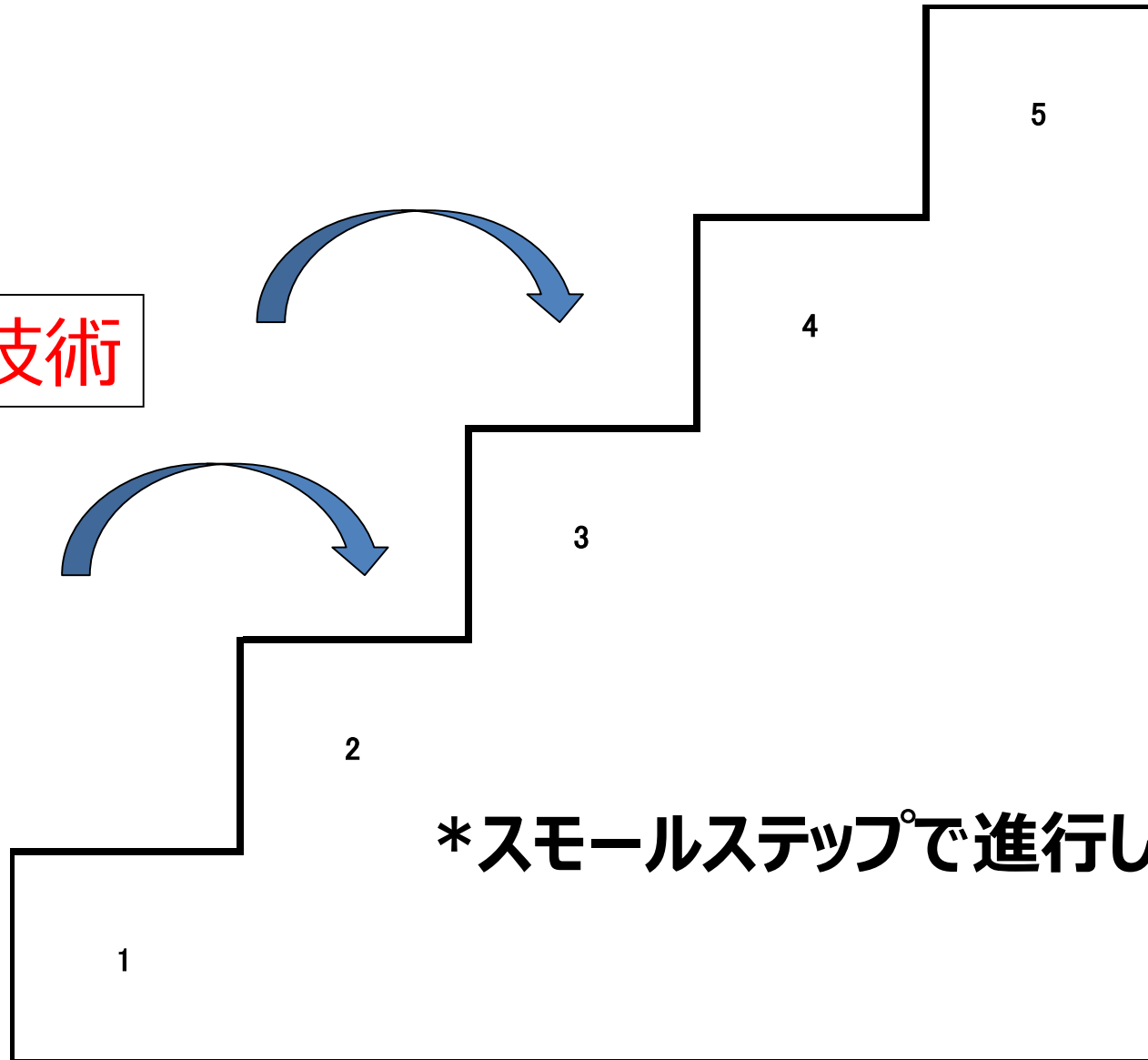
Am I right
(正しいか?)

Apply it
(練習)



Small step

思考 << 技術

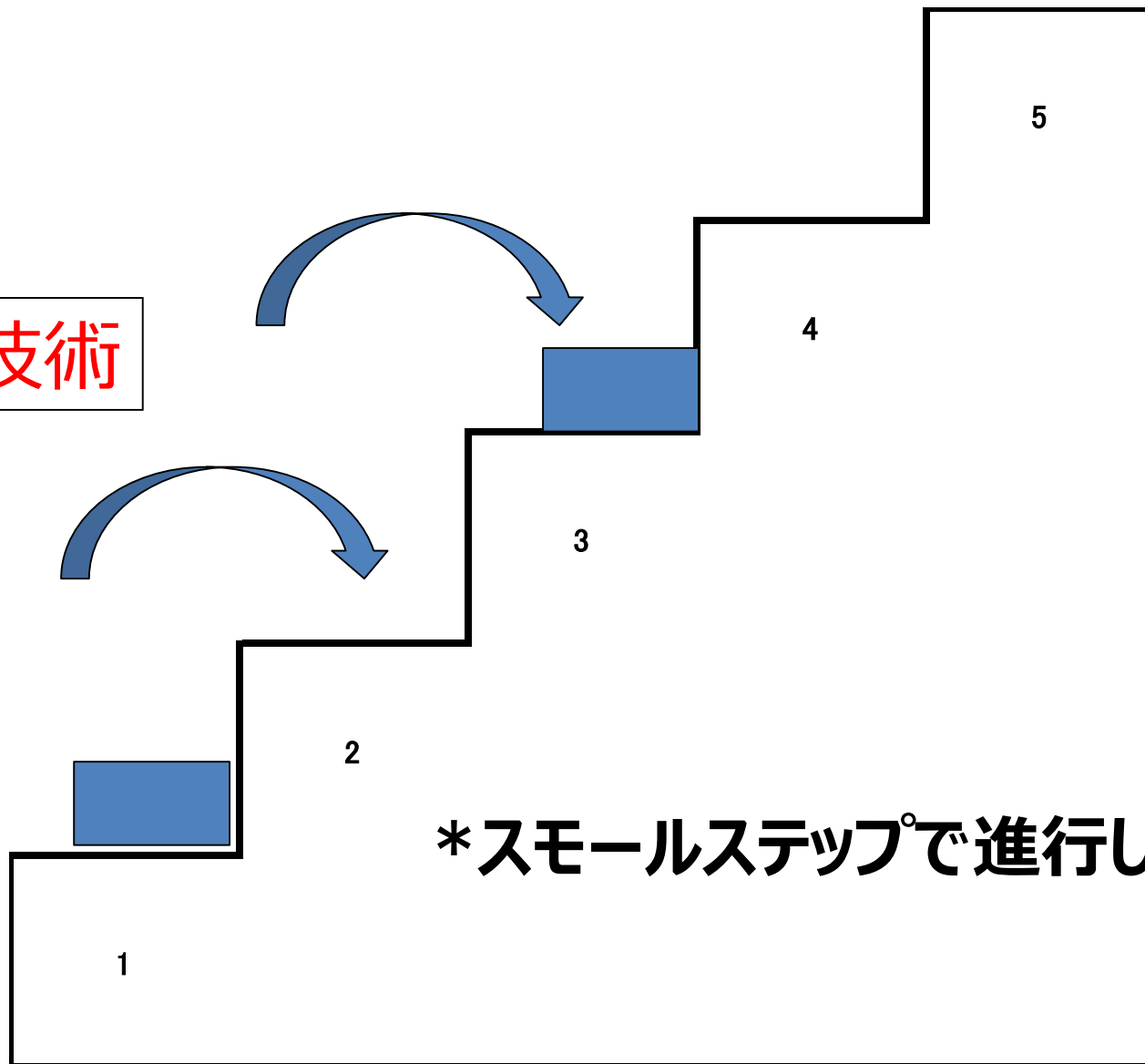


***スモールステップで進行していく**

Small step

思考 >>> 技術

思考 <<< 技術



*スモールステップで進行していく

学 習

例)自動車教習所 1段階の場合

1. シートを体型に合わせる。シートベルトをする。
2. クラッチを踏んで、ギアをNにして、エンジンをかける。
3. バックミラーで後方確認して車をゆっくりスタートさせる。
(クラッチミートを優しく)
4. 適時、ギアを入れ替える。アクセルとクラッチを踏む。
5. 直線を走ったら、ブレーキを踏んで止まる。

*スモールステップで進行していく。

思考 << 技術

運動スキル
[体を使う]

かっこみせ

言って聞かせて

かっこみせて

かっこみせて

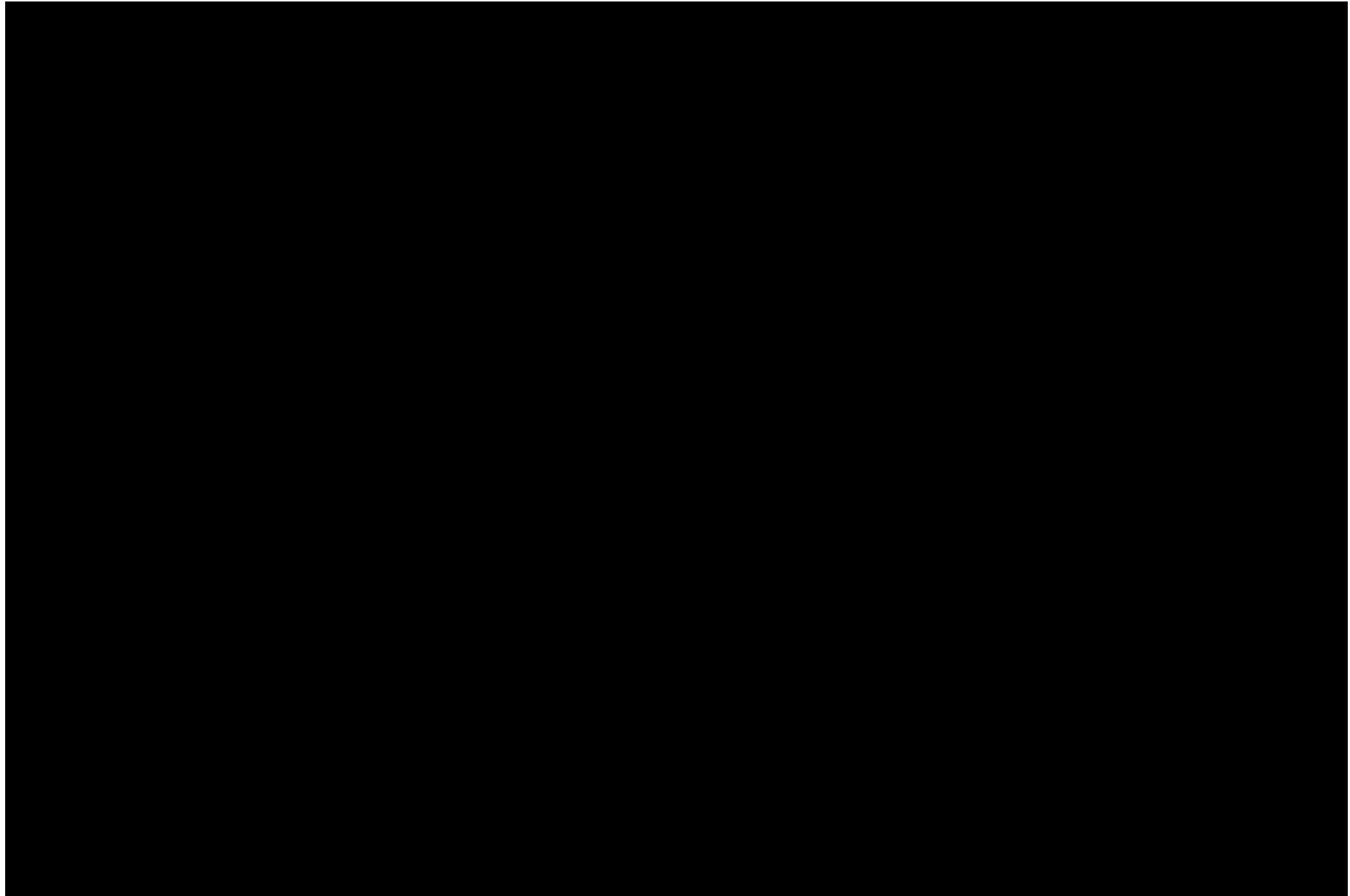
人は動がじ

山本五十六



Yotubeに
救急救命東京研修所(ELSTA東京)
監修の
全国的な標準化された
デモンストレーションDVDをUpした
学生には、視聴していただくことを伝達した

ELSTA東京研修所監修；IV穿刺要領



救急救命実習Ⅱアンケート結果

設問1：私は、この科目の内容をよく理解できた。	設問3：この科目の授業方法は、理解を促したり考えさせたりするための工夫がなされている。	設問4：この科目の授業資料（板書・教科書・スライド・動画・その他配布資料等）は、自身の学びに役立った。	設問5：この科目の課題およびフィードバックは、自身の学びに役立った。	設問6：総合的に見て、この授業を受講してよかった。	平均
4.64	4.75	4.71	4.71	4.68	4.70

まとめ

- DVDを視聴することで理解度が増した
- いつでも、どこでも、何回でも視聴可能
(授業中でも視聴可能)
- 手技の細かい箇所も見る事ができた
- 基礎技術の手技を理解できた
- デモ(教員が)の準備が不要なくなった